



2017. World Supersport Championship

round - 1 Australian Phillip island February 26

大久保光一予戦 10 番手 決勝キャンセル

World Supersport Championship (WSS) の 2017 シーズンが開幕しました。第 1 戦は 2 月 26 日オーストラリア、フィリッブアイランドで行われました。2 年目となる大久保光は、同地で行われた事前テストにも参加、初日には 4 番手タイムを記録、翌日もトップ 10 に食い込む走りを見せ、昨年とは違う存在感でライバルからも一目置かれるライダーへと成長し本戦への期待が高まりました。本戦でも好調な滑り出しで、自己ベストを更新し 6 番手に付け念願のスーパーホール 2 への進出を決めます。

ですが、スーパーホールに挑み、上位グリッドを目指してコースインして 3 ラップ目に、昨年と同じ 11 コーナーでハイサイド。激しく転倒、医務室に運ばれます。精密検査の結果、左鎖骨を 2 ヶ所骨折と診断されました。大久保はなんとしても決勝への出場を願っています。モト GP ライダーのホルヘ・ロレンソが鎖骨骨折後に決勝に出た事実を持ち出し「走れる」と訴えますが、ロレンソが決勝でケガを悪化させたことから、WSS のオーガナイズから「ケガを押しての参戦を認めないことが決まった」のだと諭されます。予選順位は、これまでの最高位が 12 番手から上げ、自己ベストの 10 番手と記されましたが、決勝への進出は断念せざるおえなくなりました。

26 日の午後にはメルボルン市内の病院でポルトを入れる手術を受けました。2 月末には帰国し、すでに次戦への準備を始めています。同チームで今季も参戦出来ることで、メカニックとの信頼関係も強固となり、大久保の走りに関わったセッティングを導くことがスムーズになったことも好調の要因です。大久保の本来の力が発揮される環境が整ってきたことは、これまでの好走で証明されており、ケガをしてしまったことは痛手ではありますが、今後の活躍を疑う者はいません。

大久保光

「今季の目標は優勝と決めてシーズンに入りました。事前テストの感触も良く、レースウィークでも昨年は違って、トップ集団にもついていける手応えがありました。もっと、もっと、もっとタイムアップしようとしての転倒でした。転んで、ケガをしてしまったことをとても反省はしていますが、攻めて転んだことに後悔はありません。術後であること、全身を強く打ってしまったことで痛みは残っていますが、この痛みにも打ち勝てるように、痛みどめには、頼らずにいます。昨年は右小指を骨折してしまいましたが、小指のケガの方がライディングに影響があり、鎖骨の方が気持ち的には楽だと前向きです。次までには 2 週間あるので、リハビリをこなし、出来るトレーニングはきっちりやって、ケガを言い訳にはしない戦いをします。自信は失っていません。応援して頂いている方々に心配をかけてしまい、本当に申し訳なく思っていますが、今後はしっかり期待に応えられるように、昨年とは違う戦いをしたいと思っています」

※次戦は 3 月 12 日タイで開催されます。

CIA ランドロードインシュアランス◆チームリリースに関するお問い合わせ先 : no1_hikari@yahoo. co. jp [大久保 光]

